

◎ 3年生 | 「話すこと聞くことの学習」

朝のスピーチを上手に活用しよう

「伝え合う」ために、まず、何から始めますか？

よく耳にするのが、「伝え合う」力を育成するためには、「基本的な話し方を学ばせる必要がある」という声です。そして、「相手の目を見て、最後まできちんと聞く」といった聞き方が重要だとも言われます。しかし、「口を開いて、相手に届く大きな声で…」といった指導は、「音読」の練習とどこが違うのでしょうか。そして、本当に「話し方・聞き方」の練習をすれば「伝え合う」ことのできる子どもが育つのでしょうか。

「伝え合う」=「コミュニケーション」

例えば、英会話の学習をするのは、外国人と楽しく話ができるようになりたいという願いが背景にあるはずです。形式をいくら練習しても、ビジネス会話しかできません。いえ、型にはまった会話しかできないようでは、商談さえもうまくまとまらないかもしれません。コミュニケーションの基本は、「言葉のやりとりを楽しむ」ことにあるからです。

次に、相手のことをもっと知りたい、相手の言いたいことが何かを受け止めたい、という気持ちをいかに育めるか。さらに、そのためにはどのように話を聞けばよいのかを指導していく必要があります。

「自己紹介」のスピーチは絶好のチャンス！

年度当初に行う自己紹介は、自然な形でコミュニケーションの練習を行う絶好のチャンスです。人前に立つと緊張してしまうような、スピーチが苦手な子どもは、何をどう話したらよいのかに自信が持てずにいることが多いものです。そこでまず、次のような「自己ピーアール」のワークシートを用意しましょう。

そして、このシートをみんなに見せながらスピーチするように指示しましょう。

ぼくの私のCMタイム	(顔写真) デジカメで撮影して貼ります。
◇好きなもの (食べ物、遊び、勉強、スポーツ、TV番組、その他)	(プロフィール)
◇たからもの (絵をつけてもよい)	・ニックネーム
◇特技や趣味	・誕生日
◇似顔絵コーナー	・血液型
◇こんなクラスにしたいな！	・星座
◇ぼくの私の目標 (みんなへの一言)	・家族 など

指導の際のポイント

- ◆始めるときには、次の点を確認しておきます。
(話し手)
 - ・全部を読み上げるのではなく、この中からみんなに紹介できることを3つ選んで話す。
 - ・話し終えたら「何か質問はありませんか」と聞く。
- (聞き手)
 - ・自分が知りたいことを決めておき、質問する。
 - ・それが話の中に出てきたときは、「どうして〇〇が好きなのか」のように、少し詳しく聞く。
- ◆実際のやりとりの中で、詳しく質問できるようになってきたら、次のようにアドバイスをします。
 - ・自分と同じ物が好きな場合は、「僕は△△なので、〇〇が好きなのですが、××さんはどうして…」のように、自分のことも少し紹介して尋ねよう。
 - ・(質問への答えについて、質問を重ねられたとき) 答えを聞いて、さらに質問してあげられれば、話す方はもっと詳しく話すことを見つけられますね。

一方通行に終わらない「やりとり」を指導する

材料(話題)さえあれば、スピーチをすることは可能です。一方的に話すのがスピーチなのではなく、聞き手と一緒に作り上げていけば良いのだ、という「安心感のある場」をいかに演出することができるかが、「伝え合う」力を育む鍵になるのです。